

平成30年度 職員提案審査会 審査結果

		忍者市プロモ支援事業＋忍者市が 認定します＋	伊賀市の歴史資料の取り扱いにつ いての提案
提案者		山本 誠	西川 幸治
判定 区分	実施・実施検討・研究課題・保 留・実施困難・実施不適・実施 済	実施検討	実施
褒賞	最優秀・優秀・佳作	優秀賞	佳作
審査会 コメント	判定区分 に関して	市として忍者市を今後どのようにPRしていく か、課題としている点での提案であり、新しい ステップに移るために、民間団体の活動に対 する公認や認定マーク等は良いアイデアであ る。一方、費用助成については、さらなる検討 が必要である。	市が取り組むべき事業であり、実施に向け 動いていく必要があるため、判定区分は「実 施」とする。ただし、コスト面での十分な検討が 必要である。
	褒賞 に関して	忍者市宣言をした伊賀市が、今まさに課題と しているところの提案であり、課題解決のため の一つの手段として優秀な提案であった。	市が取り組むべき事業を提案されており、市が 行うべき点について気づきがある提案であ った。実施すべき案件であるがゆえに、コスト 面での検討がもう少し深くあればさらによい 提案になるものである。
	実施検討の ポイント	・活動費用の一部を補助するという点につ いては、その効果を含め慎重に検討する 必要がある。 ・認定マークについて、効果が期待できる が、忍者市伊賀市と一目でわかるデザインと、 高い汎用性が求められる。 ・民間に引き継ぐことが出来るスキーム について検討する。	・実施にあたり、最小のコストで効果が得 られるよう検討したうえで実施されたい。 なお、実施にあたってはデジタル化するべき 資産の優先順位やどこまでデジタル化を行 うのか、いつまでに行うのかなど、適切 な計画を立てること。
担当課 (関係課)		観光戦略課	文化財課 (上野図書館) (教育委員会)